

氣にしるい 氣にしるい

昔とくらべると物がおもふといふ

その知理に困つていふ 筋がなくて なくて

国のは時代とすこして来はうた

手紙着る物に 知人と話をするとその話に

なる 思うさへ 対策でなくあつて

いる どうしはうか 決してあつるか

はいかあり もうはいあり

現在二階へ行く二とが去来あり 物置と同じ

だ 何があふ 不思議いぐさ 肝 処介して

きん物もある 和服 若いころ着るいふがう

うふ ちと せいえは ありあつていふいふ

やはきれいしたんどうをふもろ下すい

といふのやうに二とがなる

だからその時々に知理をして来はうた

今のころでいふは若い時の後半 やはうと

いふ上の物が氣に入つた時のものいふ

これは一般物でいふ 何かしらあつて 桜木

その

本も処分して来はうたりだ

一度了んだものは二度了る事はない、必要とす  
 る時が来るとはもの「気象に因するもの」  
 し方に因する事「呼吸法」も「呼吸法」  
 自己研鑽の本 長期運任の少説はのこつて  
 いる これをどうすれば入ら  
 物販はやめて着る物だ  
 毛皮のコート 金細糸糸縷のするコート  
 細粒の帯帯秋甲と衣るい、  
 品だ  
 これぐらゐるう 二階へ行く  
 二階へ行く

う これ不むつかしい 断 存んとか  
 だ そのうすはわかなくだろろの口だ  
 気はしなない 気はしなない

整 観望するに卒業しよう